

1 いのちの光

尽きることのないあなたの愛が私を包む
溢れる喜びすべてのものがあなたを歌う
闇を消し去るいのちの光すべてを捨てた愛

※手をのばして光放て

あなたと歩むそれは素晴らしいいのちの日々よ

Above All

すべての支配者、地の上の自然界も
この世の知恵、力にも勝る唯一お方
すべての国々、その富と栄光さえ
比べることはできない、何にも勝る方が

※十字架にかかれて死なれたバラのように
孤独で踏みつけられても私を思って下さった

※十字架で背負われた私の罪をすべて
ありがとう誰にも勝って私を愛してくださって

イエスが愛したように

イエスが愛したように私達も愛し合う
その愛の中で枝となる時多くの実を結ぶ
イエスが愛したように私達も愛し合う
人が友のため命を捨てるほどの愛はない

※ 共に支え合い共に助け合うイエスの愛で
共に祈りあい共に笑い合うイエスの愛の中

注ぎたまえ主よ/輝く日を仰ぐとき

1.注ぎたまえ主よ恵みとあわれみを
天が開くため祈る聖霊の力を

※主の御霊よ触れたまえ我が心に主の教会に
雨を降らせりバイバルをきたらせたまえ
この地の上に

2.受ける価値なき我ら御前に進み祈る
ああ栄光の御業見させたまえ

我がたまいざたたえよ大いなる御神を ×2

5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り ピリピ4の4~7
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り 詩篇51
3. 個人的な願いの祈り ヨハネ15の7
4. とりなしの祈り 1テモテ2の1~4/エペソ4

- ①大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ②瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ③クリスチャンが成長し、整えられ、用いられますように
= 教員が恵まれて、礼拝・祈祷会・奉仕・献金・伝道ができますように
- ④求道者が与えられ、救われますように→受洗者
- ⑤教会近隣の方が集われますように
- ⑥若い献身者が与えられますように
- ⑦ジョイキッズとユースの働きが充実しますように
- ⑧高齢の方々の方フォローが十分になされますように
- ⑨Seto Life Art Studio が用いられますように
= ウクレレ・キッズ英語・ゴスペル・モンテッソーリ教室・音楽ミサなど
- ⑩50人→100人→200人と教会が成長しますように

5. 日本と世界とエルサレムの平和を願って...

- ウクライナとロシアのために。戦争が終わるように。
- 日本の今後・未来のため。教育・経済・国際情勢。

信仰宣言

- 「私の家族は全員救われます」
- 「日本にはリバイバルが始まっています」
- 「私も用いられます」
- 「すべての問題は解決します」
- 「することなすこと、みな成功します」
- 「私のまわりには奇跡が起こります」
- 「すべてのことを感謝します」
- 「イエス様がご一緒ですから」
- 「ハレルヤ主よ感謝します」

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



聖ペテロの足を洗われるキリスト

Christ Washing the Feet of Saint Peter
渡辺貞夫 1987

祈りの小径(こみち)

Number: 152 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

ヨハネによる福音書13章1節・12～17節

1 過越の祭の前に、イエスは、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時がきたことを知り、世にいる自分の者たちを愛して、彼らを最後まで愛し通された。

12 こうして彼らの足を洗ってから、上着をつけ、ふたたび席にもどって、彼らに言われた、「わたしがあなたがたにしたことがわかるか。13 あなたがたはわたしを教師、また主と呼んでいる。そう言うのは正しい。わたしはそのとおりである。14 しかし、主であり、また教師であるわたしが、あなたがたの足を洗ったからには、あなたがたもまた、互に足を洗い合うべきである。15 わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ。16 よくよくあなたがたに言うておく。僕はその主人にまさるものではなく、つかわされた者はつかわした者にまさるものではない。17 もしこれらのことがわかっていて、それを行うなら、あなたがたはさしいわいである。



3 黙想(Life Art Meditation)の時間

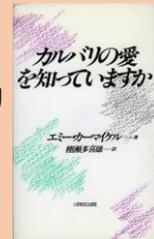
(感じたこと・恵まれたことをノートします)

4 みことばの解説

今日は、2023年の暦上、キリストの受苦日(Good Friday)の前日となります。つまり、イエス様が過越しの食事をするために弟子たちを集め、彼らの足を洗い、最後の晩餐を行い、パンとぶどう酒を分け、決別メッセージを語り、賛美ののちにケデロンの谷を通過してオリブ山に向かい、ゲッセマネの園で血の汗を流して祈られた日です。その24時間を辿る厳粛な一日。

今回、瀬戸カルバリーでお仕えくださっている小山勇児さんが、ヨハネ13章から証メッセージをしてくださいます。ぜひ祈りをもって支え、主からのメッセージとして霊的な養いを得、共に祈ってゆきましょう。

以下、私の愛読しているインドの宣教師エミー・カーマイケル女史の著書「カルバリーの愛を知っていますか」から3編お分かちします。受難週の黙想に加えて頂ければ幸いです。



主が私を憐れんでくださったと同じように
わたしの同労者を思いやることがもしできないならば
その時わたしは カルバリーの愛をまったく知らない

人のためにせいじつぱい尽くし
そして何の応答もないような時、
もし そのつらさに疲れ果て、
早く重荷から逃れたいと考えてしまうならば、
その時わたしは カルバリーの愛をまったく知らない

もし 主の憐みを身に染みて知ることがないならば
(主は振り向いてペテロを見つめられた)、
また、へりくだり悔い改める者に対する
主の大胆な期待を 身に染みて知ることがないならば
(イエスは彼に言われた「わたしの小羊を飼いなさい」)、
その時わたしは カルバリーの愛をまったく知らない